

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
令和８年度 第２回 認知症対策部会 会議録

開催日時	令和８年８月２６日（水） 午後２時００分～午後３時３０分
開催場所	生駒メディカルセンター 研修室
出席者 （委員）	山上部会長、佐々木委員、太田委員、徐委員、古田委員、尾山委員、大谷委員、中田委員、高原委員、竹田委員、笹本委員、森田委員
事務局	地域包括ケア推進課 齊藤課長、田中課長補佐、田村係長、黒松係長、福本
傍聴	なし
案件	(1) 若年性認知症当事者との意見交換 (2) 認知症施策推進計画に係る認知症アンケート調査結果について (3) 多職種連携研修会の報告 (4) その他
資料	会議次第 （資料１）若年性認知症当事者への質問内容まとめ （資料２）認知症アンケート調査結果 報告書 （資料３）多職種連携研修会の報告
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
事務局	１．開会 会議の公開、録音了承
部会長 事務局	２．案件 案件（１）の若年性認知症当事者との意見交換においては、個人情報を含む内容となっているため、非公開とすることを確認。 異議なし。
部会員 事務局	案件（２） 認知症施策推進計画に係る認知症アンケート調査結果について （資料２に基づき事務局から説明） ・認知症当事者９９人、家族１０人へ行ったアンケート調査結果 ・認知症ケアパスを知らない方が８７．９%と高い数値となった ・各種調査結果を踏まえながら、生駒市高齢者保健福祉計画第１０期介護保険事業計画の策定に向けて結果の取りまとめを行う

部会長	意見① アンケート対象者はどのように抽出したか →各包括支援センターの利用者より答えていただけた方を選んだ
部会長	意見② 認知症当事者が99人、家族が10人は差がありすぎるのではないかと →当事者、家族合わせて100人にアンケートを取ることを目的としていた。 本人ミーティングに来ているご家族にアンケートを取ったためこのような結果となった。
部会員	意見③ 認知症ケアパスの認知度を上げるためにどのように取り組んでいくか →医療機関や薬局への配布、広報誌への掲載で周知していく
部会長	案件(3) 多職種連携研修会の報告
事務局	(資料3に基づき事務局から説明) ・多職種連携研修会では、ケアパスについて居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関等の関係者を対象にグループワークを実施。新旧のケアパスを見ていただき、内容やデザインについての感想、今後の活用方法等について意見交換を行い287件の意見をいただいた。 ・今後は市民だよりなどでより多くの市民の方がケアパスを目にする機会を増やしていくことが必要。その足がかりとして9月は認知症月間ということもあり、来月の広報誌にケアパスの記事を掲載する。 ・今回いただいた意見、実際に活用していただけるという声を大切にしながら、ケアパスを単なる冊子だけでなくツールとして使っていただけたらいいように取り組んでいきたい。
部会長	意見① 認知症とはどんなものかという基本的な話を新ケアパスでは省いて作ったが、入っていた方がいい。本人、ご家族に説明するのには旧バージョンの方が使いやすいという意見があった。 →ご意見いただいた旧ケアパスの段階別の表等を新ケアパスのデザインに合わせて作成中。ホームページに公開できるように準備を進めている。 今後は少しずつマイナーチェンジしながらいいものにしていけたらいいと思う。
部会員	意見② ケアパスについて市民への周知のために1家に1冊配ることはできないのか →今回初めて9月の広報誌に掲載し、どんな方たちにどれだけ周知の効果があるかを見たい。1家に1冊配るのは予算の関係もあり難しいが、簡易版を1枚載せる可能性はゼロではないと思う。
事務局	案件(4) その他 次回の認知症対策部会は来年の2月か3月です。 次回の開催までかなり期間が空きますので、その間も地域密着型等の施設の見学を予定しておりますので、ご連絡させていただきます。

	ではこれもちまして、第2回の認知症部会は終了させていただきます。ありがとうございました。
--	---

15：30閉会